

未来への協働

2023年12月27日(水)

第380号

●発行所 未来への協働
〒577-0023 大阪府東大阪市荒木2丁目14-5
電話/FAX (06) 4306-3512
郵便振替 00940-8-213061
Eメール mirai_newsroom@yahoo.co.jp
●発行人 山本 康

●第2・4水曜日発行
●200円(本体182円)
●定期購読 購読料(送料別)
1月 400円(送料188円)
半年 2,400円(送料1,128円)
1年 4,800円(送料2,256円)

今号の主な内容

- 2面 スラップ訴訟は不当労働行為 山紀会争議
- 3面 「公」と「私」の垣根がなくなる 万博・カジノ
- 4面 自衛官と人権 五ノ井さんの告発が示すもの
- 5面 「あたりまえの権利」を求めて 朝鮮学校
- 6面 続く海保の無法と暴力 辺野古

紙面へのご意見、ご感想を。詩、短歌、川柳、写真なども募集しています。



https://kyodomirai.org

子ども脱被ばく裁判

「負けても意味がある」 国策に抗うシンボル

福島第一原発事故で、子どもと親たちに無用な被ばくをさせた国と県の責任を問う「子ども脱被ばく裁判(親子裁判)」で2審の仙台高裁は、1審に続いて原告の訴えを退ける不当判決を出しました。判決前の集会で弁護団長の井戸謙一弁護士は、「たとえ敗訴になっても意味のある裁判だった」とその意義を強調しました。(入江友子)

高裁判決を前にした12月2日、大阪府高槻市で「勝利判決を！西日本集会」が開かれました。会場は開会前には満席。「支える会」共同代表水戸喜世子さんから「勝利判決以外にない。この思いを仙台高裁に届けよう」と挨拶がありました。

弁護団の田辺保雄弁護士は、今年7月に出された国内避難民の人権に関する国連特別報告者セシリア・ヒメネス・リバーさんの調査終了報告書の重要性について解説しました。この報告は「日本政府は原発事故後、安心情報だけ提供して帰還した。学者・専門家による



集会で講演する井戸謙一弁護士=12月18日、大阪府高槻市

多方面からの立証を行い、被告側の重要人物の尋問を実現した。「原告側は、放射性物質は法的には『危険な公害物質』に入っており、規制基準がないこと、セシウム含有放射性微粒子の存在と危険性が無視

されていること、安定ヨウ素剤服用の指示が一部を除いて出されなかったこと、一般人の被ばく限度年間1mSv(ミリシーベルト)を、福島県だけ20mSvとして学校を再開したことなど、様々な角度から被ばくの危険性を科学的に証明した」

「一方、被告側は山下俊一氏(ニコニコしている人に放射能は来ない)とデマをまき散らした張本人)や、鈴木真一氏(子どもの甲状腺がん多発を原発事故由来ではないと主張)などを証人

マスメディア(とくにテレビ)のパレスチナ問題の扱いに、違和感を覚える。ネタニヤフ首相やイスラエル軍の会見が繰り返され、パレスチナ人の歴史や背景はほとんど触れられない。ガザの悲惨な映像は映されるが、「ハマスのテロ」「病院が拠点に」などのコメント

が被せられ、爆撃されても仕方がないかのように印象付けられる。防衛研究所などの軍事専門家に「作戦」を解説させる一方、ガザで救援にあたるNGOや国連関係者のコ

メントはまれだ。ガザへの激しい攻撃により、すでに1万9千人を超えている市民や子どもたちが殺されている(12月20日現在)。これこそ国並列的な言葉では表せない

フリージャーナリストの綿井健陽さんは、「イブスラエルとパレスチナの間には、圧倒的な非対称性があり、記憶であり、未来の可能性。いますぐ停戦を！」(パレスチナの事態は)西洋の普遍主義がむき出しの偽善であり、長きにわたる植民地主義の現実を明らかにした。それを乗り越える未来を予感させた。私たちは、この地で生きる権利がある。この地で未来を創る。私たちは祖先が植えたオリブの木だ。「即時停戦」を強く求める。(竹田雅博)

OPINION これはジェノサイドだ 自衛でも報復でもない

「報復や自衛権行使をはるかに超え、どんな言葉も追いつかない。パレスチナ人への殺りく」と述べていた。ヌーラ・エラカッタさん(パレスチナの女性)

「キックバック」という言葉を見聞きしない日はない。日ごころから食事支度をしながら、よくユーチューブで時事問題を検索して聞いている。報道が始まったころは、「キックバック」で検索すると米津玄師のミュージック・ビデオが出てきていた▼ところが最近、そのパロディ版「キックバック(裏金)」という動画が投稿され、「バズっている」状態だ。歌詞の一部を紹介すると、オープニング画像が「KICK BACK(政治資金パーティ)」から始まる▼「くすねた献金バレ、アキラッキーねえw ダッセエ脱税野郎は更★迭」

扇状地

「キックバック」という言葉を見聞きしない日はない。日ごころから食事支度をしながら、よくユーチューブで時事問題を検索して聞いている。報道が始まったころは、「キックバック」で検索すると米津玄師のミュージック・ビデオが出てきていた▼ところが最近、そのパロディ版「キックバック(裏金)」という動画が投稿され、「バズっている」状態だ。歌詞の一部を紹介すると、オープニング画像が「KICK BACK(政治資金パーティ)」から始まる▼「くすねた献金バレ、アキラッキーねえw ダッセエ脱税野郎は更★迭」

「即時停戦」を強く求める。(竹田雅博)

スラップ訴訟は違法行為

山紀会争議で画期的勝利

10年にわたって労働争 大阪市内で行われた(11月21日)。山紀会では法人山紀会(大阪市西成区)の「争議報告会」が



スラップ訴訟を取り下げさせた！
= 23年5月11日 大阪地裁前

「名譽毀損」に当たる合への損害訴訟は不当労働行為」とする認定が確定した。報告会では、当該労働組合側の対応や「支配介入としてのスラップ訴訟」山紀会事件・大阪府労委命令の意義などについて発言があった。在問弁護士は、「スラップ訴訟が不当労働行為であるとすると命令は初めて。判例もなく、非常に画期的な勝利であり、労働組合だからこそ勝ち取れたもの」と労働組合と労働法の可能性を強調した。山紀会の闘いは、現場の介護への責任感と不屈の闘い、労働法を駆使した労働委員会での粘り強い闘争、その実行を指す地域の団体行動・直接

が「名譽毀損」に当たる合への損害訴訟は不当労働行為」とする認定が確定した。報告会では、当該労働組合側の対応や「支配介入としてのスラップ訴訟」山紀会事件・大阪府労委命令の意義などについて発言があった。在問弁護士は、「スラップ訴訟が不当労働行為であるとすると命令は初めて。判例もなく、非常に画期的な勝利であり、労働組合だからこそ勝ち取れたもの」と労働組合と労働法の可能性を強調した。山紀会の闘いは、現場の介護への責任感と不屈の闘い、労働法を駆使した労働委員会での粘り強い闘争、その実行を指す地域の団体行動・直接

「非戦の国から軍事国家へ」と「プロ野球日本一」パより閣議決定が優先される国になってしまった。5年間で43兆円にも上る軍事費拡大。そうならば7やASEAN諸国など「連携」の狙いとは、「中国包囲網(抑止力)」と

「異次元の軍拡」と沖縄 前泊博盛さんの講演より(上)



異次元の軍拡と沖縄 前泊博盛さんの講演より(上)

「非戦の国から軍事国家への危機」と「台湾有事」「沖縄」「自衛隊配備の急拡大」「米安保と沖縄、普天間、辺野古、安保は日本を護るか」などについて話した(要約)。

安保3文書が大問題 事国家への危機と云うだ。「台湾有事」「沖縄、てもいい。日本有事」を煽りながら、「異次元の軍拡」が国会審議なしに閣議決定で決

「異次元の軍拡」が国会審議なしに閣議決定で決められた。日本は、憲法に苦しめられてきた。や



大島堅一さん

組合活動は「犯罪」か 加茂生コン事件を考える

弾圧を許さない実行委員会代表で全港湾大阪支部委員長小林勝彦さんは主催者挨拶で、「加茂生コン事件は、就労証明書を要求したことが事件になっている。普通はありえないことだ。高裁で一人は無罪、一人は罰金刑という判決だった。最高裁ではこの判決が確定するか、もしくは二人とも無罪になるかと思っていたが、残念ながら差し戻しになった。二人とも無罪を勝ちとるために闘う」と語った。

労働組合の当たり前の活動が罪になる世の中は恐ろしい。(池内潤子)



久堀文弁護士

closeup 原発回帰は許されない ウソだらけの推進論

理由としてあげるのは、次の3つだ。第一に電力需給の逼迫。第二に温暖化対策。第三に「原発は安い」というもの。

「電力需給が逼迫しているから原発が必要」というのはまったくのウソだ。ひっ迫が生じるのは10年に1度と言われるような異常気象の時、その場合は電力消費のピーク時に数時間だけ消費量を下げればよい。再稼働に1〜2週間もかかるのはまったく計算されていない。これは大きな負の遺産。原発による経済的利益は全くない。

第28回国連気候変動枠組条約締約国会議(COP28)が開催中の12月2日、米エネルギー省は、2050年までに世界の原発の設備容量を3倍に増やすという宣言を発表した。これには22の有志国が名を連ねており、日本政府も賛同した。

原発回帰にのめりこむ岸田政権のエネルギー政策に反対する集会在3日、大阪市内で開かれた。主催は老朽原発うごかすな！実行委員会。原子力市民委員会座長で龍谷大学教授の大島堅一さん(写真)は特別アピールで、「原発回帰の3つの論拠」を徹底批判した。政府が原発を拡大する

多様性社会と包摂に関する試論(第4回) 釜ヶ崎労働者 三浦 俊一

多様性なき「多様性」の強調

ダイバーシティが「多様性」を指すなら、その反対語は「画一性」である。「画一性」ではなく、多様性でいこう」とみながら声をあげているのなら、そこで否定されている「画一性」とは、何を指していたのかを再度確認すべきだろう。

世界的な人材派遣企業 アデクトグループの日本法人はホームページで「ダイバーシティ」として認知られています。急遽な少子高齢化の進行に対応できないというところだろう。官僚や政治家たちが抱いている、日本の近未来への恐怖を読み取ることができる。

経済産業省はホームページで「多様な人材」とは、「性別、年齢、人種や国籍、障がいの有無、性的指向、宗教・信条、価値観などの多様性だけでなく、キャリアや経験、働き方などの多様性」も含まれている。女性や

高齢者、外国人を差別し排除してきた、これまでの日本社会のあり方では、競争力を高める経営戦略として認知られています。企業が進めるダイバーシティを推進することで、優秀な人材の確保やイノベーションの創出につながり、世界での競争力の獲得や業績向上、生産性向上などといったメリットが期待できると言われています。

「ダイバーシティとは生産性向上運動のことだったのか!」と思われる方もおられるだろう。然り、資本家たちにとってはこれこそ「ダイバーシティ」の肝なのである。そこでは結局のところ、

反差別を闘う運動は資本に包摂されてしまうのか。そうならないためには、原点に返って社会的包摂を共生社会へと転換させる視点を確立することが重要である。

類的存在と共生社会

マルクスによれば、人間とは相互の生産共同体において、他人とともに共同生活を営む社会的存在である。このような存在を類的存在と呼ぶ。マルクス以前にもあった類的存在という思想は人間の共同生活の中核に愛を据えていたのに対して、マルクスは労働や生産が共同生活の中核をなすとしたのである。

また「障害者権利条約」の解説では、「さまざまなかぎ」を理由にだめだといったりすることなく、「ちがいの中心にこそ、その人らしさがある。ちがいを大事にしよ」ということを謳った「世界のルール」とある。このような政府によるダイバーシティ(多様性)や共生社会の賛美には大きな問題がある。こ

ここで言われている「ちがいは自然に形成されたものではない。明らかに現代資本主義が人為的に作り出した「ちがひ」である。しかも「ちがひ」の基準は、「生産性が高いか、低いか」というところにある。

誰が排除しているのか

「障害者基本法」における障害者の定義は「身体障害、知的障害、または精神障害があるため長期にわたり日常生活、ま

陸上自衛隊で(性暴力)を告発した五ノ井里奈さんは、今年初め、国と加害者の元隊員5人に損害賠償を求めて横浜地裁に提訴した。事件は社会問題となり、防衛大臣の指示による「特別防衛監察」で30万人の全隊員を対象にして、異例のハラスメント調査を行った。

たは社会生活に相当な制限を受ける者」。この定義は曖昧である以上に、うした施策は、高齢者の肝心なことが書かれていない。「社会生活に相当の制限」を加えているのは誰か、という点だ。

このことを如実にあらわしているのが、2025年には800万人に達するといわれる、貧困単身高齢者への社会政策の欠如だ。彼らは、社会の「お荷物」としか見られていない。年金支給開始年齢の引き上げ、

年金の削減、定年延長、社会保険料の負担増。この定義は曖昧である以上に、うした施策は、高齢者の生存を脅かしている。これこそ社会的排除と見るべきであろう。

ここまで、排除から包摂に至る時代的な経過を証すべき課題は多い。例え「マルクスの労働価値説を、現代社会において支持できるのか」という問題だ。この問題への挑戦は今後の論争を待たない。(おわり)

自衛官と人権侵害

五ノ井さんの告発が示すもの

その結果、被害申し出は1325件(パワハラ1115件、セクハラ179件、マタハラ56件)を数えた。そのうち6割が相談しなかったと答え、その理由として「改善が期待できない」(23%)、「窓口があることを知

トが全国的に可視化されたのはおそらくこれが初めだ。一方で、五ノ井さんが個人のSNSでセクハラアンケートをおこなったところ、たちまち現職隊員や元隊員から140件以上の回答が寄せられたという。だと

らレイプを受け、63.8%が「セクハラ経験がある」と答えた。一方で、五ノ井さんと米国防総省が認めた。これが「正義の戦争」の実態だ。戦場は「人間性」を破壊し、「最大の人権侵害の場」にならざるを得ない。その危険な入り口に、自衛隊員も立たされ

らなければ、防衛省の調査結果は「氷山の一角」にすぎないということだ。「戦争は最大の人権侵害」と言われる。戦場で「お前、職場にいられたらいい」と言われる。戦場で「お前、職場にいられたらいい」と言われる。戦場で「お前、職場にいられたらいい」と言われる。

「国民の命と安全を守る」の蛮行の反省から、兵士人間扱いされなければならぬ。単なる殺人機械にされてしまうのは目に見えている。彼らの人権を守ることが、隊員には従わなくてよいとしても切実な課題であろう。12月12日、福島地裁は

インフォメーション

2024年1月1日(月)

2024元日行動

午前10時

●大阪府警本部前
地下鉄谷町線・谷町四丁目駅下車
主催：労働組合つづしの大弾圧を許さない実行委員会

2月23日(金・休)

第8回狭山事件の再審を実現しよう

市民のつどい in 関西

●午後1時開会(正午開場)

●大阪市西成区民センターホール
「最寄り駅」南海線・地下鉄堺筋線・天下茶屋駅
地下鉄四ツ橋線・岸里駅
記念講演：黒川みどり(静岡大教授)
主催：実行委員会



近代社会がもたらした「文明病」

高次脳機能障害と現代社会 ②



三池CO患者・宮嶋重信さん(享年33)。助かった者も、その多くがCO中毒患者となって、悲惨な生活を強いられた。=出展:エル・ライブラリー / https://l-library.hatenablog.com/entry/20131103/1383392489

11月10日、大阪市内で開かれた集会「原点はここにあった 高次脳機能障害と現代社会」の第2部では、「酸化炭素(CO)中毒特別立法制定の闘いに至った方たちの苦悩を描いたミュージカル『黒いかがやきの道』が上演された。

みんな同じだ!

年金もなく労災補償も打ち切られ、遺族はもとより、CO中毒患者の家族たちは、塗炭の苦しみの中にたたき込まれた。生還したとはいうものの、高次脳機能障害についての病院や世間の無理解と過酷な現実、患者と家族は苦しめられていく。

頭痛、耳鳴り、物忘れはまだ軽症で、知的障害、で仕切られている粗末な

追いつめられていく家族の様子。皆、同じよ! だから皆で起ち上がる」という場面に涙が止まらなかった。こうして私たちの身の決起が始まっていった。

「三池」を風化させない

第3部は脳外科医の山口研一朗さんの講演。山口さんは高次脳機能障害の課題に一貫して取り組んで来られた方だ。以下、

その要旨を紹介する。

現在、高次脳機能障害を持つ人は全国に60〜70万人いる。労災、交通事故、脳梗塞などの後遺症で身近な障害のほとんどが、社会的に認知されることができない。かつて三井三池炭鉱事故のCO中毒で高次脳機能障害を発症した人びとの生活は悲惨だった。労災法の適用が3年で打ち切られた後は、とても働ける身体ではないのに坑内労働の復帰が強制され、それができない労働者は容赦なく解雇された。「三池CO訴訟」で会社の責任を認める判決が出たのは、1993年だった。

三池炭鉱じん爆発事故は不可抗力による事故ではない。炭鉱内に浮遊する石炭の炭じんを常時除去したり、水の散布作業をしたりすれば回避できたのだ。能率と利潤を最優先して人員削減を続けてきた三井資本の、人を人とも思わぬ、法律無視の合理化方針がもたらした人災以外の何ものでもなかった。

トヨタ自動車は3・9兆円もの純利益(24年3月期)になりそうだが、戦後、「交通戦争」と呼ばれた交通事故の多発が、高次脳機能障害の主な原因となっていた。水俣病も経済性優先で環境や命をおろそかにした「社会が作り出した病気」だ。

「社会が作り出した障害」は医療の発展の追求は当然としても、なにより社会的に解決しなければならぬ。患者を介護している家族の高齢化、さらに「親亡き後」はどうすればいいのか。今、社会保障の削減という流れの中で深刻さは増すばかりだ。

「頭部外傷や病気による後遺症を持つ若者と家族の会」が結成されたのは1995年。あれから30年経った現在、その輪は全国に広がり、「高次脳機能障害支援法」の早期実現を求めて闘っている。そのためにも三池炭

三井炭鉱じん爆発事故とその除き、専門医・専門医療機関の拡充につながるよう『支援法』の制定を強く国会に求めることを決意した。(つづく)

「あたりまえの権利」求めて 朝鮮高校裁判10年の闘い

大阪の朝鮮学校が、日開かれた。

大阪府の「高校無償化」政策から排除され、大阪府・大阪市から補助金交付を停止されたことに抗議して、二つの裁判が闘われた。その10年間におよぶ闘いの軌跡を収めた『あたりまえの権利』を求めて』の出版記念集会が11月22日、大阪市内で開かれた。



大阪朝鮮学園高校無償化・補助金代裁判記録集刊行委員会・編/現代人文社 2023年 / 3000円+税

に果敢なタックルを見せた朝鮮高校ラグビー部のように「あたりまえの権利」を獲得するまで闘う」と決意を語った。無償化連絡会・大阪の共同代表・藤永壮さんは、「在日朝鮮人をはじめ、広く外国人の人権・教育・歴史に関心をもつ皆さんの参考になる内容を目指した」と話した。ラグビー日本代表の李承信さんのビデオメッセージも紹介された。「在日朝鮮人の存在を抹殺しようとする日本政府への怒りと、拉致問題への怒りと、拉致問題を口実に在日への集団いじめ・リンチを助長する日本社会に恐怖を覚えた」という。そして「無償化はどんな学校でもすべてが受けることのできる権利」であることを再確認した。(佐野裕子)

民族としての誇り

裁判を共に闘った当事者によるリレートークでは、朝鮮学校を高校無償化の対象から除外した国の処分は違法だとして、無償化適用を命じた大阪地裁判決(2017年)の歴史的な意義を振り返った。

三里塚の産直野菜

葉物は柔らかく味は濃い。日照り水不足で出遅れた葉物野菜が出回ってききました。秋の高気温で成長が早く、市販の品に比べるとかなり太目のもの



三里塚「産直野菜」は有機無農薬。毎週・隔週、「お試しセット」あり。

【お問い合わせ】 TEL/0799-72-5242 関西実E-mail/kanjitsu_mail@yahoo.co.jp

トガシさんの「沖縄便り」(7)

続く海保の無法と暴力

弾圧にも心は変わらない

2014年の夏、まだ。議会で審議して設定海底のボーリングをして。したのではなく、閣議決した頃、カヌー隊に加わ

り阻止しに行った。辺野 区域に最初は恐る恐る、古の海に土砂投入がな

れたときも、海上に居た。のちには大胆にフロート

米軍基地キャンプ。を越えて作業船に向かっ

シュワープは国道329 行った。すると周りに

号線を跨ぎ、海岸にまで うろついていたゴムボ

達しているが、さらに海 ト(GB)に乗った海保

岸から50mほどは米軍に たちが、拘束しに来る。

提供された海域となって フロートを越える度、海

いる。政府は辺野古に新 上保安庁に拘束された。

基地建設が決定されてか 素直に拘束されるので

ら、臨時的制限区域と称 はなく、なぜ拘束するの

し、さらにずっと沖合 かと抗議した。彼らは無

に浮き輪(フロート)で 言だったり、私たちの安

柵を作り、抗議船やカ 全のためとか違法だから

ヌーが入らないようにし と言ったりした。私は違

法なら逮捕せよと迫った こともあったが、逮捕は

できなかった。

たたかいの初期は抗議

船がひっくり返され、カ

ヌーの仲間が怪我をさせ

られた。海水に顔を押し

込まれた女性もいて、そ

の乱暴なやり方を裁判に

訴えた。なかでも「海保

太郎」と名乗った隊員の

ことで中城海上保安部へ

抗議に行った。そのため

なのか、海保が隊員を入

れ替えたのか、乱暴な隊

員は少なくなっていた。

その後、またおかし

くなった。私が陸でのた

たかに移った後の21年4

月15日、工事護岸に向

かって漕ぎ出したカヌー

9艇の内の千葉和夫さん

のカヌーに、海保の高速

ボートが猛スピードでぶ

つかってきた。千葉さん

は胸部打撲、頭部挫傷、

頸椎損傷を負った。海保

側からならぬ謝罪もな

いため7月に提訴した。

「軽微な接触があった」

との弁明であった。ぶつ

けられた瞬間の映像があ

る。「よくごこまでウ

ソを言い張るものだ」と

怒りを覚える。 12月に12回目の裁判が

行われた。いつものよう

に畫面のやりとり。まだ 解放しようと海保が辺野



海上パレードを前に辺野古浜に集合したカヌー隊のメンバーたち(2014年4月19日)

証人尋問にたどり 着いていない。こ

のような遅々たる

裁判闘争。千葉さ

んに再び海保の攻

撃が行われる。22

年11月、フロート

の外で写真を撮っ

ていた千葉さんめ

がけて、GBが

突っ込んできた。

避けられずぶつけ

られ頸椎捻挫の負傷。ま

かり間違えば死ぬ。那覇

地検に告訴状を出した

が不起処分された。

「心さわぐ青春の歌」

の辺野古版)

(富樫 守/12月17日)

古の浜に近づくと、浜で

市民たちが抗議。結局、

沖で私たちを解放してい

た。 辺野古ゲート前で故高

垣さんが、よく歌ってい

たのを思い出した。

♪いかなる弾圧が 度

重なるとも われらの友

情は 永遠に変わらな

海や森 空も澄めば わ

が心は やんばるの地に

「ゴミ屋敷」を片付ける (下) 家族もびっくり

善のためには、一度、引

越しをして取り立てを回

避し、自己破産手続きす

るしかない」と判断しま

した。わかりやすく言う

と人道的判断による「夜

逃げ」ということです。

このとき最大のネック

が、あふれかえっていた

物の山でした。これも最

初は同様の方法で始めた

のですが、最終的にはB

さんがほとんど自分で不

用品を捨てられるように

まで回復しました。引

越しも無事成功。悪質借

金取りを振り切ったBさ

んは、新生活をスタート

することができました。

するとBさんの生活に

トガシさ 面、沖縄県民集会の盛り

上がり伝わってきたし

た。川柳・短歌に「ひと

こと」もあり。嬉しく拜

見。(利)／扇状地。肥

育ホルモン肉、不安だけ

ど貧乏…。テレビのグル

メ番組見ない。食糧も水

ねば。(ち)／劣働三権

もないガザへの攻撃やま

ず。(な)／障がい者大

フォーラムの記事、当事

者たちとの途方もない壁

を興味深く読んだ。江戸

を冷徹に認めて付き合う

ことが、本当の誠実さで

知りたい。(み)／1

はないか。(ひ)

いた生活を改め、自炊中 心の生活になりました。 休みがちだった作業所も 「皆勤賞」だけでなく、 回数を増やし収入も少し は増えたようです。支援 担当者は「以前はほとん ど表情に感情が出なかつ たのに、今は作業所のイ ベント集合写真で笑って いて、昔とは別人のよう です」とびっくりして いました。 薬物治療だけでは、こ こまでの結果は出なかつ たと思います。その人の 「捨てられていた可能性」 を形にする、これもヘル パーの重要な仕事です。 「あきらめてはいけない。 あなたはまだ終わってな い」という、職業的信念 です。(小柳太郎/介護 ヘルパー)

まい・しよっと (66)



作家の灰谷健次郎さんの本の挿絵を手がけたりした画家・坪谷令子さんの「初期から今日までの作品」を選んだ個展が開かれた。美術科の卒業制作は、絵画の素養がない私にも、「若い躍動と憂愁」が伝わってきた。青い海を泳ぐジュゴンは大浦湾だろうか。坪谷さんの作品には、絵本『ヒロシマのピアノ』(共著)もある。

(撮影:11月、神戸市内、mark)

川柳

和秋

廊下から母が叱った参観日

走るから転ぶ歩いて遅刻する

じいちゃんはかけ放題が好きなんだ

切手からギョーザの匂いプンとする

ばくの名がNGリスト君の次

鉛筆画この素晴らしきど根性

これからはいいえと言って生きていく

戦争はきつとうさぎをゼロにする

短歌

小春

見てくれる妻に怒鳴って出ていかれ

老いたる男の性よ哀しき

異なれど迫害追放異ならず今省みよ

シオンの民